

平成23年度 入新井第一小学校学校経営計画

大田区立入新井第一小学校

校長 三田 盛久

1 目指す学校像

学校としての確固たる教育理念をもち、大田区の教育施策を見据えつつ、地域力を凝集し家庭の教育力とも連携し、児童の確かな学力の定着と人格の完成を目指す。
この実現のために次の三つの学校像を以下に簡潔に示す。

確かな学力を保障する学校 豊かな心を育成する学校
地域・保護者・教職員が一体となって子供を育てる学校

2 本校の現状と課題

若手教員（本年度2年次研修対象者が7名）が非常に多い現状の中、中堅教員として1名の主幹、8名の主任教諭が学校運営を支えている。

また、本校の保護者・地域は、学校に対して大変協力的である。この保護者・地域の信頼に応えるには、幹部教員の指導力の発揮と効果的 OJT の推進によって、若手教員の指導力と保護者・地域との連携力を高め、総合力のある学校を実現することが求められる。

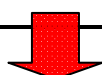
簡潔に示すと、以下の四点が本校の課題である。

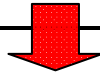
教育の質の向上 「学校力を高める」
教員の資質の向上 「指導力を高める」
組織の活性化 「組織力を高める」
保護者・地域との連携力
 「説明責任能力・企画力を高める」

3 学校経営目標〔重点目標の設定〕と方策

(1) 中長期的目標と方策

校長・副校長・主幹・主任教諭による直接指導を推進する。
〔教え合い・学び合いの教育現場 = それぞれの職層により教え合う学校文化〕





成功体験の積み重ねによる若手教員の指導力の育成を図る。

(分掌・学級経営等)

〔バックワードチェイニングという人材育成方法〕

教員相互の校内授業公開週間を通して、日常の教育活動の中で授業改善の状況の相互確認を行う。(指導力面)

若手教員の保護者対応については、校長・副校長の継続的指導・助言による対応を推進し、信頼感のある学校を実現する。(カウンセリングマインドの保護者対応力・説明責任能力の育成)

国・都・大田区の重要教育施策を教育活動と子供の姿で実現

(2) 今年度の目標と方策

昨年度の大田区教育委員会研究推進校として、「教員の指導力の向上」と「子供の学び合い・伝え合いの学習」の実績を区内の学校及び保護者・地域に示すことによって、以下に示す学校を全校あげて実現する。

よい子の学校 よい学校

そのための、主な具体的方策を、次の5点で示す。

保護者や地域との連携

毎学期1週間程度の学校公開 学校関係者評価の充実
地域活動への貢献 学校支援地域本部の立ち上げ準備

学力の向上

授業の充実 算数習熟度別少人数指導の充実
補習教室の実施(月、火、木の放課後と土曜日の午前)

生活指導と豊かな心を育む教育の充実

「入りっ子スタンダード」の定着 規範意識の育成
基本的な生活習慣の確立と体力の向上

・早寝早起き、朝ごはん強化月間 ・早起きサッカー

道徳の授業の充実 校内の特別支援学級・通級教室との交流

体験活動の充実

移動教室 とうぶ(6年) 伊豆高原(5年)での自然体験の充実
秋の運動会 展覧会 夏休みわくわくスクールの充実

教育環境の整備

読書環境の充実 校内美化、校内掲示の充実